

令和4年度全国学力・学習状況調査における

北九州市立 萩ヶ丘 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思っております。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

教科に関する調査(国語、算数、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

児童質問紙調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

3. 教科に関する調査結果の概要

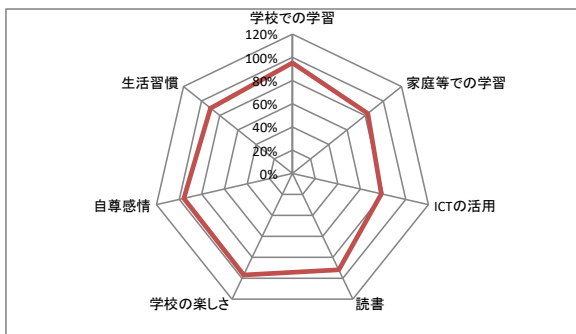
(1) 全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

(2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	文章に対する感想や意見を伝えあい、自分の文章のよいところを見付けることができている。しかし、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることに課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくてきた問題	1一話し言葉と書き言葉との違いを理解する問題 3二文章に対する感想や意見を伝えあい、自分の文章のよいところを見付ける問題	
	努力が必要な問題	2一登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題	
算数	全体的な傾向や特徴など	A 数と計算領域では、全国平均を上回っている。特に示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述する問題の正答率が高い。しかし、B 図形領域に課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくてきた問題	1(3)示された場面を解釈し、除法で求めることができる理由を記述できる問題	
	努力が必要な問題	4(2)図形を構成する要素に着目して、長方形の意味や性質、構成の仕方について理解する問題	
理科	全体的な傾向や特徴など	問題に対するまとめを導き出すことができるように、実験の過程や得られた結果を適切に記録することができる。しかし、観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して解釈し、自分の考えをもつことに課題がある。	全国平均正答率との比較 下回っている
	よくてきた問題	3(2)実験の結果から、問題の解決に必要な情報が取り出しやすく整理された記録を選ぶ問題	
	努力が必要な問題	1(5)育ち方と主な食べ物の二次元の表から気付いたことを基に、昆虫の食べ物に関する問題を見いだして選ぶ問題	

4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣や家庭等での学習の項目が全国平均を下回っており、特に「自分で計画を立てて勉強している」と肯定的に回答している児童の割合は大きく下回っていることから、家庭との一層の連携を図ることや反復学習だけでなく、課題意識をもたせ、児童が主体的に取り組む「調べ学習」等の充実を図ることなどが必要である。 ICTの活用を満足に感じていない児童が見られるので、思考ツールの一つとして効果的に使えるよう、改善していきたい。

5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

各授業では、引き続き、児童の言葉で「めあて」「まとめ・振り返り」を設定することを全校体制で行う。また、定期的に授業公開を伴う校内研修も実施する。タブレット端末で授業を録画し、全職員がいつでも視聴できる環境を整えることで、全ての教職員で授業改善に取り組んでいく。

② 家庭生活習慣等に関する取組

「学校だより」等を通じて基本的な生活習慣の定着に向けた啓発を今後も行い、各家庭と学校が協力して取り組んでいく。引き続き、児童の家庭学習ノートを展示し、進んで家庭学習に取り組む態度を養う。